卒業論文

福岡市における
地域自治組織の担い手に関する考察

平成 21 年度入学

九州大学　文学部　人文学科　人間科学コース

社会学・地域福祉社会学専門分野

平成 25 年 1 月提出

要約

本研究では、ソーシャル・キャピタルの視点から、福岡市における地域自治会と自治協議会の担い手の構造や意識について明らかにし、よりよい地域自治組織のあり方について考察することを目的としている。

第1章では、本研究の目的を述べるとともに、先行研究によって自治会についての特徴や歴史的変遷の確認と、ソーシャル・キャピタルについてまとめ、最後に改めてソーシャル・キャピタルと地域自治組織について本研究における考えを述べている。本論文では、「ソーシャル・キャピタルは、広く、人々がつくる社会的ネットワーク、そしてそのようなネットワークで生まれる共有された規範、価値、理解と信頼を含むものであり、そのネットワークに属する人々の間の協力を推進し、共通の目的と相互の利益を実現するために貢献するもの」（宮川公男・大守隆編 2004:3）という定義を用いている。

第2章では、福岡市におけるコミュニティ政策の概要を紹介し、Z区役所での聞き取りをもとに行政の考えをまとめている。また、福岡市が行ったアンケートをもとに、福岡市の自治会・自治協議会の現状を把握するとともに、本研究のフィールドであるY自治会とX自治協議会の現状を比較している。その中で、高齢の会長が低報酬で多忙な活動を続けている現状や、次の担い手や参加者が不足しているという状況が確認された。続けて、本研究のフィールドについて概要を紹介し、選定理由を述べている。調査は、文献調査、フィールドワーク、アンケートによって構成されている。

第3章では、分析と考察を行っている。まず、第1節において文献調査によってY自治会の担い手や機能における変化をたどり、第2節で、アンケートによってY自治会とX自治協議会の担い手の意識や構造について比較を行っている。第3節では、インタビューをもとに担い手についてより深く考察を行い、第4節でインタビューや参与観察で得られたその他の知見についてまとめている。

第4章ではまとめとして、本研究で得られた4点の知見について要約している。第1に、ソーシャル・キャピタルと自治会・自治協議会の関係性についてである。自治会はソーシャル・キャピタルを創出・維持・増加させる役割を持ち、自治協議会はソーシャル・キャピタルを利用して地域を自治・統治する役割を持っていると考える。第2に、自治会の過去、現在、将来の変遷についてである。過去つまり自治会設立当初においては、地域内部

の課題を解消するために狭い範囲で内向きの活動が行われていたが、現在はより広い範囲での活動への比重が大きくなり、より高度な課題に対して広く外向きに活動するようになっている。そして、近い将来においては、高齢化の進行など目前の課題について今一度地域内部の結束力を強める必要性も高まってきている。第 3 に、地域自治組織の担い手や参加者の問題について、Y 自治会と X 自治協議会の比較をもとに、住民が担い手としてステップアップすること、女性のリーダーを増やすこと、若い世代の組織を作り地域活動に参加してもらうことを提案している。第 4 に、地域自治組織がもつ重要な特徴についてである。地域自治組織は居住するという条件だけで人々に居場所を与えることから社会的包摂を実現することができ、その中で生涯学習を行い自己を成長させることができるという、現代社会の社会的排除の問題を解決する方法の 1 つであり、そのための人々の意識を育てる格好の場である。一方で、地域自治組織への過度な期待により担い手が潰れてしまわないよう仕組みの改善を絶えず行う必要があると指摘している。

最後に、本論文を執筆するにあたってお世話になった方々にお礼を述べ、論文をしめくくっている。

目次

1　問題意識・・1

1.1　本研究の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

1.2　先行研究の整理・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

2　調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

2.1　福岡市における地域自治組織の現状・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・12

2.2　フィールドの特徴・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・27

2.3　フィールドの選定理由・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32

2.4　調査の手法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・32

3　分析と考察・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・34

3.1　変容するＹ自治会の機能と担い手――文献調査から・・・・・・・・・・・・・・34

3.2　担い手についての組織間比較――アンケート調査から・・・・・・・・・・・・44

3.3　担い手の声――インタビューから・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・53

3.4　地域自治活動のこれから――インタビュー・参与観察から・・・・・・・・・・62

4　まとめ・・62

おわりに・・68

参考文献・・69

参考 URL ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・70

付録